2020 ベネッセ
教育情報
フォーラム

Benesse

高校入試セミナー　熊本県

《第１部》
新しい学習指導要領と
学習評価

◆この資料の情報は、令和2年9月30日までの発表内容に基づいて記載しています。
◆セミナー（ライブ/録画）では、投影のみの資料を用いて説明する場合があります。

©Benesse Corporation.All rights reserved.

学習指導要領の改訂

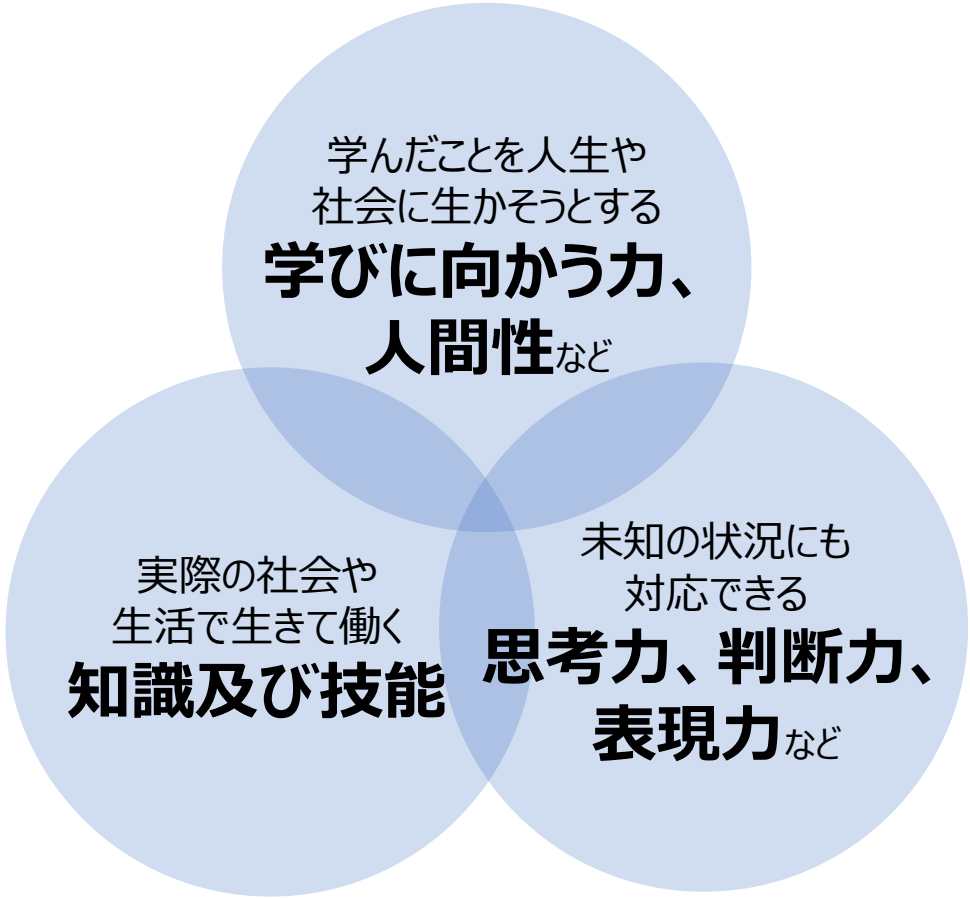
新しい学習指導要領のポイント

○「生きる力 ～学びの，その先へ～」

情報化や技術革新，グローバル化等変化の激しい社会を生きるために必要な力である「生きる力」を，日々の授業での学びを通して，一人一人の子供たちに確実に育成することを目指す。

「主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の視点からの授業改善」と「カリキュラム・マネジメント」により，これらの三つの資質・能力をバランス良く育むことを目指す。

○何ができるようになるか ～「資質・能力の三つの柱」～



文部科学省「新しい学習指導要領　中学生の保護者の方へ」（リーフレット），
「新しい学習指導要領リーフレット　制作後記～リーフレットを読み解くためのヒント～ 」より

©Benesse Corporation.All rights reserved.

学習指導要領の改訂

新しい学習指導要領のポイント

○何を学ぶか～具体的に取り組むこと・これからも重視すること～

下記のほかに、「体験活動」「キャリア教育」「起業に関する教育」「金融教育」「防災・安全教育」「国土に関する教育」なども充実

- プログラミング教育
- 外国語教育
- 道徳教育
- 言語能力の育成
- 理数教育
- 伝統や文化に関する教育
- 主権者教育
- 消費者教育
- 特別支援教育

「特別の教科 道徳」では、生徒がいかに成長したかを積極的に受け止めて、認め、励ますための評価（記述式）を行います。特定の考え方を押し付けたり、評価を入試で使ったりしません。

文部科学省「新しい学習指導要領　中学生の保護者の方へ」（リーフレット）より

©Benesse Corporation. All rights reserved.

学習指導要領の改訂とそれを受けた英語教育現場での変化

具体的な学習内容の変化（英語の例）

外国語教育　「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の力を総合的に育みます。

■新しい学習指導要領では「話すこと」の内容が［やり取り］と［発表］に分かれ、より具体的な内容に。 **※以下は［やり取り］の部分を抜粋**

エ　話すこと［やり取り］

(ｱ) 関心のある事柄について，相手からの質問に対し，その場で適切に応答したり，関連する質問をしたりして，互いに会話を継続する活動。

(ｲ) 日常的な話題について，伝えようとする内容を整理し，自分で作成したメモなどを活用しながら相手と口頭で伝え合う活動。

(ｳ) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき，読み取ったことや感じたこと，考えたことなどを伝えた上で，相手からの質問に対して適切に応答したり自ら質問し返したりする活動。

文部科学省「中学校学習指導要領」（平成29年3月31日公示）より

＜具体的な変化のポイント＞

●語彙数の増加

1600～1800語程度に（現行1200語程度）

●文法項目の追加

（例）仮定法・現在完了進行形（高校から中学へ）

●「目的・場面・状況」をふまえた英語力の育成

実際の使用場面やコミュニケーションの目的が設定された中で学び、目的・場面・状況に応じて使える力を育成。

●発信力の育成

準備しての活動だけでなく即興的な話す活動（やりとり、発表）や、まとまりのある内容を話す・書く活動、等。

＜参照資料＞
○中学校学習指導要領８平成29年3月31日公示）　比較対象表（文科省）　○中央教育審議会　外国語ワーキンググループにおける審議の取りまとめ（文科省）　○中学校学習指導要領（平成29年告示）解説　外国語編（文科省）

©Benesse Corporation.All rights reserved.

学習指導要領の改訂

具体的な学習内容の変化（数学の例）

理数教育

観察、実験などによる科学的に探究する学習活動や、**データを分析**し、**課題を解決するための統計教育**を充実します。

●領域の名称を変更（数学）

現行	新学習指導要領
A.数と式	A.数と式
B.関数	B.関数
C.図形	C.図形
D.資料の活用	**D.データの活用**

【例1】中1「**累積度数**」（高校から中学へ）

（例）30人のゲームの得点

得点（点）	度数（人）	累積度数（人）
0	3	3
5	6	9
10	13	22
15	8	30
合計	30	

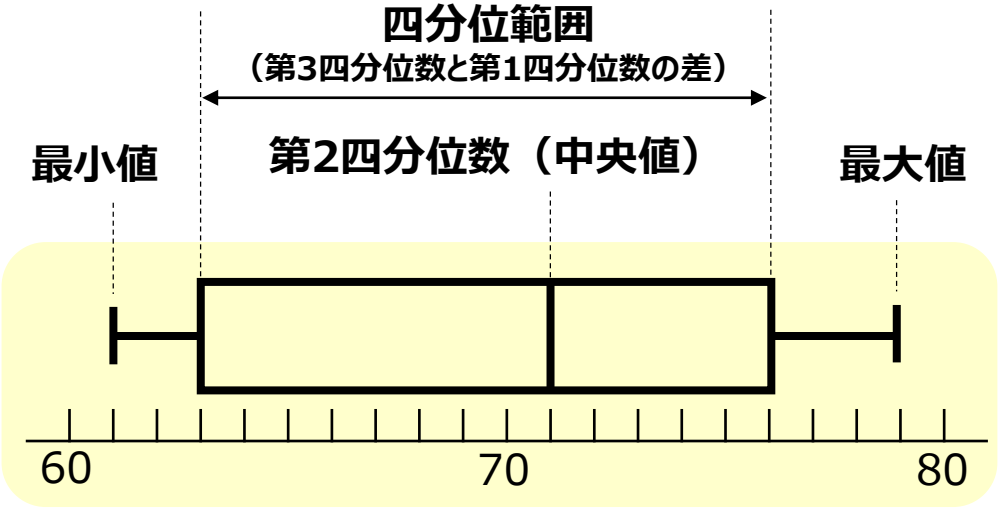
【例2】中2「**四分位範囲**」「**箱ひげ図**」（高校から中学へ）

（例）7人のテストの得点

61，63，65，71，73，76，79

（下位のデータの中央値）→**第1四分位数**

（上位のデータの中央値）→**第3四分位数**



文部科学省「中学校学習指導要領（平成29年3月31日公示）比較対象表」，「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説　数学編」より

©Benesse Corporation.All rights reserved.

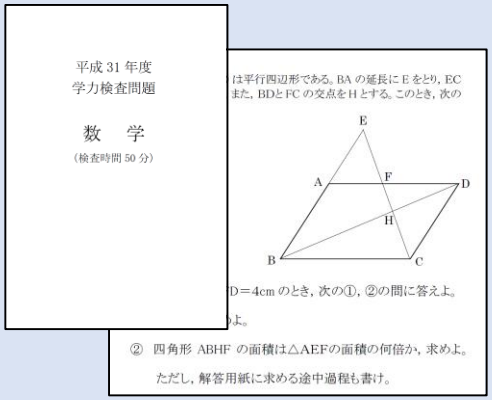
高校入試の選抜資料

■高校入試で合否を決めるための資料は、おもに調査書（内申点）と入試の得点です。※多くの場合、入試当日の試験を学力検査と呼びます。

内申点
（中学校の成績等）

教科	観点別学習状況 観点	1年	2年	3年	評定 1年	2年	3年
国語	国語への関心・意欲・態度	A	A		5	4	
	話す・聞く能力	A	B				
	書く能力	A	A				
	読む能力	A	B				
	言語についての知識・理解・技能	A	A				
社会	社会的事象への関心・意欲・態度	B	A		4	5	
	社会的な思考・判断・表現	A	A				
	資料活用の技能	B	A				
	社会的事象についての知識・理解	A	A				
数学	数学への関心・意欲・態度	B	A		3	4	
	数学的な見方や考え方	B	B				
	数学的な技能	A	A				
	数量や図形などについての知識・理解	B	A				

入試の得点
（学力検査）


平成31年度
学力検査問題

数　学

（検査時間50分）

は平行四辺形である。BAの延長にEをとり，ECまた，BDとFCの交点をHとする。このとき，次の

D＝4cmのとき，次の①，②の問に答えよ。

よ。

② 四角形ABHFの面積は△AEFの面積の何倍か，求めよ。

ただし，解答用紙に求める途中過程も書け。

その他の検査

※都道府県や学校・学科など，また選抜区分によっても異なる。

□面接
□特色検査
□実技検査　など

入試の得点だけでなく、内申点も合否に影響します！

※調査書の様式や，活用方法は都道府県や学校等によって異なります。
※調査書，入試の問題はモデルケースを示しています。

©Benesse Corporation.All rights reserved.

新指導要領～学習評価の変更について

新しい学習指導要領（**中学校は令和3年度より全面実施**）の下での学習評価

現行
観点別
評価は
4観点

- 知識・理解
- 技能
- 思考・判断・表現
- 関心・意欲・態度

新課程
観点別
評価は
3観点
に整理

1. 知識・技能
2. 思考・判断・表現
3. 主体的に学習に取り組む態度

「主体的に学習に取り組む態度」の評価（一部抜粋）

２つの側面を評価

①知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとする側面。

②①の粘り強い取組を行う中で，自らの学習を調整しようとする側面。

具体的な評価の方法

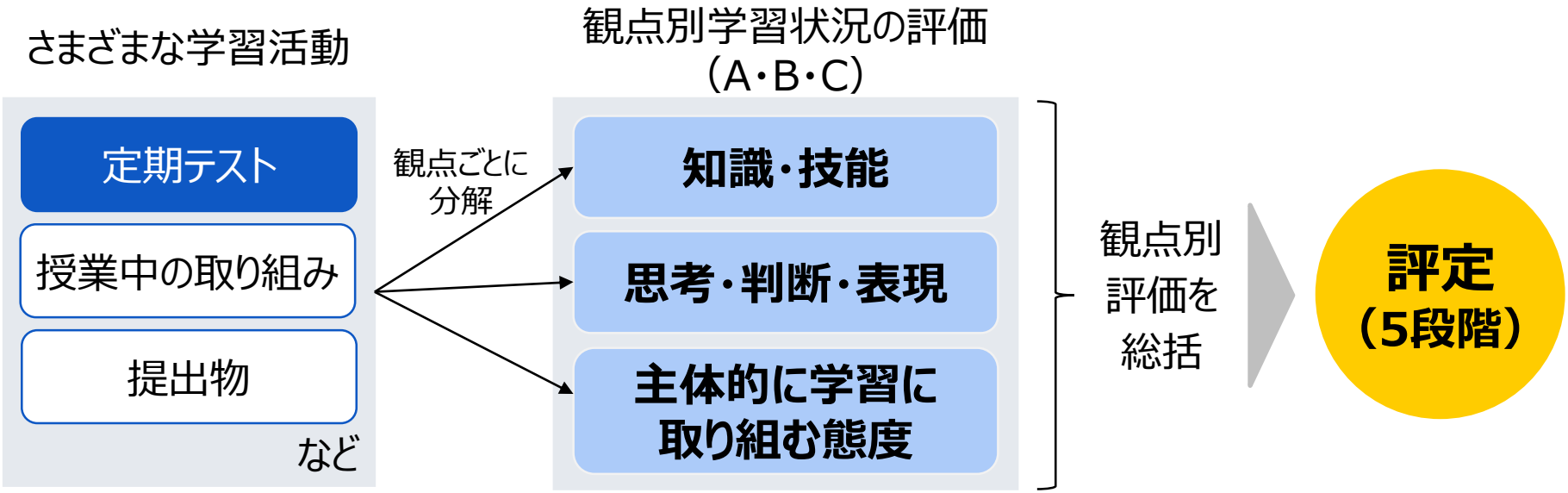
ノートやレポート等における記述、授業中の発言、教師による行動観察や、児童生徒による自己評価や相互評価等の状況を教師が評価を行う際に考慮する材料の一つとして用いることなどが考えられる。

その際、各教科等の特質に応じて、児童生徒の発達の段階や一人一人の個性を十分に考慮しながら、「知識・技能」や「思考・判断・表現」の観点の状況を踏まえた上で、評価を行う必要がある。

※平成31年3月29日文部科学省初等中等教育局長通知「小学校,中学校,高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について（通知）」
平成31年1月21日文部科学省中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会「児童生徒の学習評価の在り方について（報告）」より作成

©Benesse Corporation.All rights reserved.

内申点について　～評定のしくみと観点別学習評価～



定期テスト以外の評価対象

- ノートやワークの提出
- レポートの提出
- 作品の提出
- 定期テストのやり直し
- 実技のテスト（歌唱・運動など）
- 授業中に使ったプリント
- 授業中の小テスト
- 発表・発言
- 調べ学習・グループ学習
- 自己評価（ふりかえり）シート　等

5段階の評定は**定期テストだけ**で決まっているわけではない
授業中の取り組みや提出物なども評価に影響

©Benesse Corporation.All rights reserved.

第１部のまとめ

■令和4年度以降の入試は、新しい学習指導要領で学習した内容から出題される。（移行措置の内容もしっかり定着をはかっておく必要がある。）

■学習評価も変更になる。観点別評価の観点は3観点になる。

■すべての観点が大切だが、特に「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」が重要である。

■「自らの学習を調整する」
　自分の学習の進め方について試行錯誤するなど、より良く学ぼうとする意欲をもって学習に取り組む態度が大切！

■これまでと同様に、定期テストだけでなく、授業中の取り組み状況や提出物なども評価の対象となる。

MEMO

2020 ベネッセ
教育情報
フォーラム

Benesse

高校入試セミナー　熊本県

《第2部》
出題の傾向と
高校入試までに身につけておくべき力

©Benesse Corporation.All rights reserved.

公立高校 入学者選抜のしくみ（全日制）

※令和３年度の情報

【前期（特色）選抜】

【後期（一般）選抜】

調査書、面接・小論文・実技検査・実験・自己表現などの学校独自検査（各高校により異なる）

■合否判定はおもに学力検査の得点と調査書の評定で決まる。

調査書（180点満点） ＋ **学力検査（250点満点）** ＋ **面接等**

●中1・中2は**9教科5段階評定**
●中3は**9教科5段階評定**を**2倍**

●国・数・英・社・理の**5教科**（各50分）
英語でリスニングテスト実施
●数学・英語は学校選択問題「A（標準的な問題）・B（発展的な問題）」から各高校が選択
●一部の高校・学科等で傾斜配点

（実施する高校・学科等の場合）
●面接　●実技検査

■学力検査点、調査書の評定の合計点（熊本県独自の方法で補正）の順位が、ともに募集人員以内にある者を対象に、第1選考として、その中から合格者を決定する。
■第1選考での合格者数が募集人員に満たない場合、選抜基準※を定め、第1選考の合格者以外の者の中から残りの合格者を決定する。　※選抜基準は各高校・学科等ごとに定める。

令和2年9月4日 熊本県教育委員会「令和3年度（2021年度）熊本県立高等学校入学者選抜要項」より作成

©Benesse Corporation.All rights reserved.

令和2年度の入試問題分析（英語）

■令和2年度　英語の大問構成（50分・50点満点）

大問	分野	内容	配点
1	リスニング・英作文	文や語句を選択する問題など	12点
2	語い・文法・長文読解	適切な語句を選ぶ問題。約30～130語の対話文読解など	13点
3	長文読解	約250語の対話文読解	10点
4A	長文読解	約260語のスピーチ文読解	10点
4B	長文読解（英作文を含む）	約450語のスピーチ文読解。10語以内で書く英作文あり	10点
5A	英作文	5語以上書く英作文など（2問）	5点
5B	英作文	25語～35語書く英作文	5点

※学校ごとに指定されたAまたはBの問題を解きます。ただし、大問２・３は共通です。

■入試問題の出題の特色（英語）

- リスニングは約11分。残りの大問4つを約39分で解くので、スピードが大事。
- 長文読解が大問５問中３問も出る！
- 与えられたテーマについて書く英作文が出る！

©Benesse Corporation.All rights reserved.

第2部 3

受験に向けて

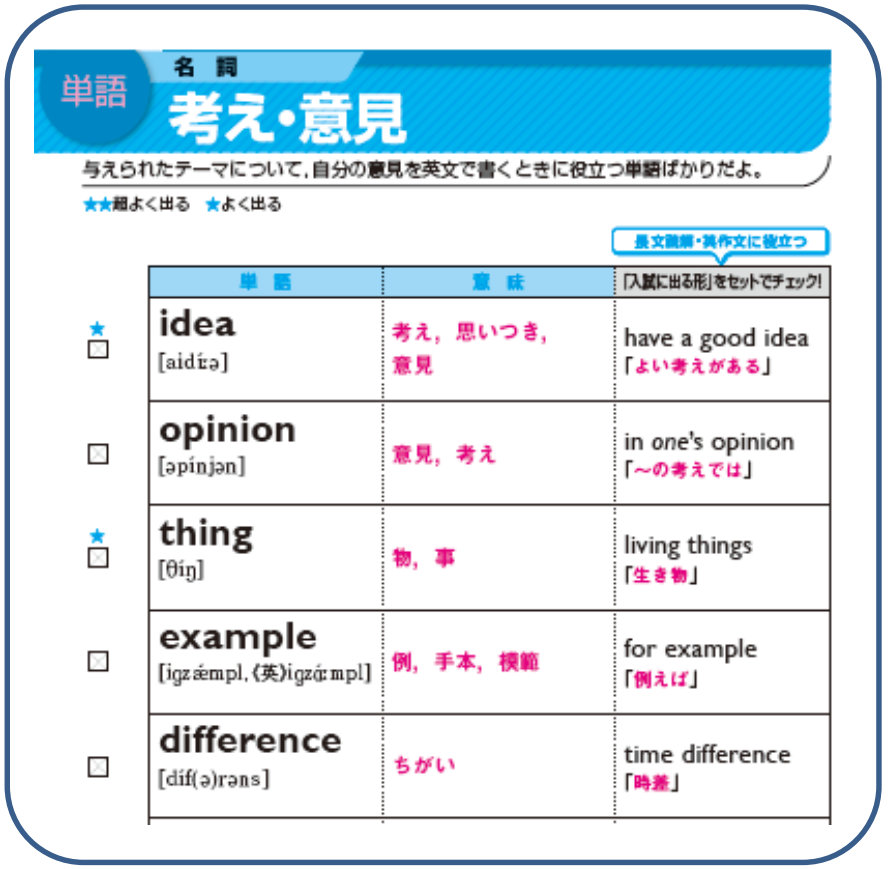
《英語》 今後の学習のポイント

■英語の学習のポイント

（1）「**単語・熟語**（じゅくご）」を確実に覚える。
例文と一緒に覚えて、使い方も
含めてマスターしておく。

（2）中学校で学習する「**文法**」を身につけ，
英作文などで積極的に使って，
自分のものにする。

（3）さまざまなテーマの**長文**を，時間を計
りながら多く読み，読解力と速読力を
身につける。



単語 名詞 **考え・意見**

与えられたテーマについて，自分の意見を英文で書くときに役立つ単語ばかりだよ。

★★超よく出る ★よく出る

長文読解・英作文に役立つ

	単語	意味	「入試に出る形」をセットでチェック!
★□	**idea** [aidíə]	考え，思いつき，意見	have a good idea 「よい考えがある」
□	**opinion** [əpínjən]	意見，考え	in one's opinion 「～の考えでは」
★□	**thing** [θiŋ]	物，事	living things 「生き物」
□	**example** [igzǽmpl, (英)igzɑ́:mpl]	例，手本，模範	for example 「例えば」
□	**difference** [dífərəns]	ちがい	time difference 「時差」

※進研ゼミ＜入試によく出る基礎　英語＞より

©Benesse Corporation.All rights reserved.

令和2年度の入試問題分析（数学）

■令和2年度　数学の大問構成（50分・50点満点）

大問	分野	内容	配点
1	小問集合	計算問題が6問	10点
2A	小問集合	作図など基本問題が中心の9問	16点
2B	小問集合	作図、確率などの問題が9問	16点
3	資料の活用	資料の散らばりと代表値の問題など	6点
4	空間図形	線分の長さやおうぎ形に関する問題	6点
5A	関数	関数の式を求める問題など	6点
5B	関数	グラフと図形の融合問題など	6点
6A	平面図形	記述式の図形の証明問題など	6点
6B	平面図形	記述式の図形の証明問題など	6点

※学校ごとに指定されたAまたはBの問題を解きます。ただし、大問１・３・４は共通です。

■入試問題の出題の特色（数学）

- 大問１、２の「小問集合」の配点が高く、重要！
- 記述式の「図形の証明問題」が出る！
- 配点の５割以上が小問集合として出るから落とせない！

©Benesse Corporation.All rights reserved.

《数学》 今後の学習のポイント

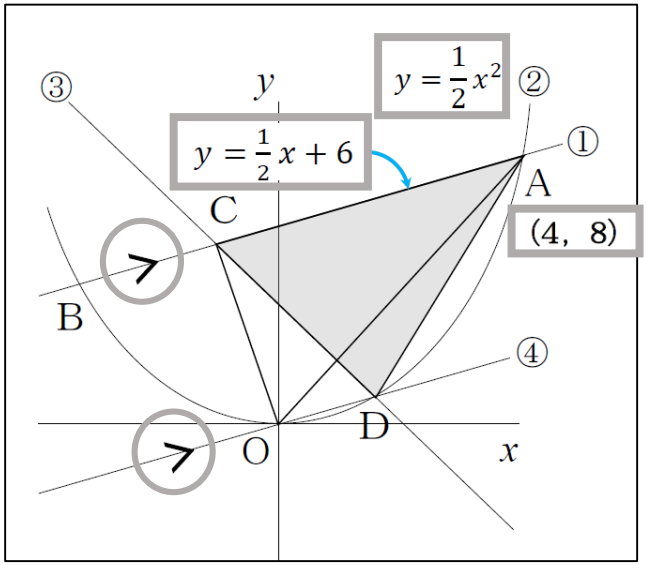
■数学の学習のポイント

（1） 基礎的な**計算力**を確実に。
文字と式、方程式は計算問題だけでなく、関数や図形の得点にも影響！

（2） **書く（かく）習慣**をつける。数学は，「試行」や「作業」が重要。
まずはかいてみること！

（3） 関数や図形の問題では、わかっていること・
わかったことを**図に書き込む**。
（定規を使わずに）図をかき直す練習もしておく。

（4） 問題を解く中で、**いろいろな考え方**を身につける。



【例】図に書き込む（関数）

©Benesse Corporation.All rights reserved.

令和2年度の入試問題分析（国語）

■令和2年度　国語の大問構成（50分・50点満点）

大問	分野	内容	配点
1	漢字・国語知識・文法	漢字に加え、知識問題が出た。	9点
2	会話発表	会話・発表に関する問題が出た。	7点
3	説明的文章	175字程度で書く作文が出た。	15点
4	小説	小問数が多い。	10点
5	古典（古文）	内容を記述する問題が出た。	9点

■入試問題の出題の特色（国語）

- 大問1を素早く解いて、作文を含む大問3の説明的文章や、大問4の小説に時間をかけられるかが高得点のポイント。
- 読解、国語知識など、幅広く出る！
- 発言の効果・意図などが問われる会話や発表に関する問題が出る！

©Benesse Corporation.All rights reserved.

《国語》 今後の学習のポイント

■国語の学習のポイント

（1） 基礎知識（漢字・語句・文法など）は少しずつ取り組む。漢字・語句は**意味や使い方**をあわせて覚える。
・・・入試直前だけですべての知識の復習をするのは難しい

（2） 文章読解は「**本文中から根拠を探す**」習慣をつける。
・・・とくに選択肢問題は間違えたら、正答・誤答の根拠を本文と照らし合わせてしっかり確認すること。

（3） 記述は、問題文から**解答条件など**をしっかり読み取り、**条件をもらさずにまとめる**練習をする。

©Benesse Corporation.All rights reserved.

令和2年度の入試問題分析（理科）

■令和2年度　理科の大問構成（50分・50点満点）

大問	分野	内容	配点
1	生物	植物のからだのつくりとはたらき 動物のなかま分け、生物の進化	13点
2	地学	太陽、太陽系、前線と天気の変化	12点
3	化学	化学変化とイオン	12点
4	物理	圧力、仕事、力学的エネルギー	13点

■入試問題の出題の特色（理科）

●物理・化学・生物・地学からまんべんなく出題されるから、ニガテな分野はそのままにしないように！

©Benesse Corporation.All rights reserved.

受験に向けて

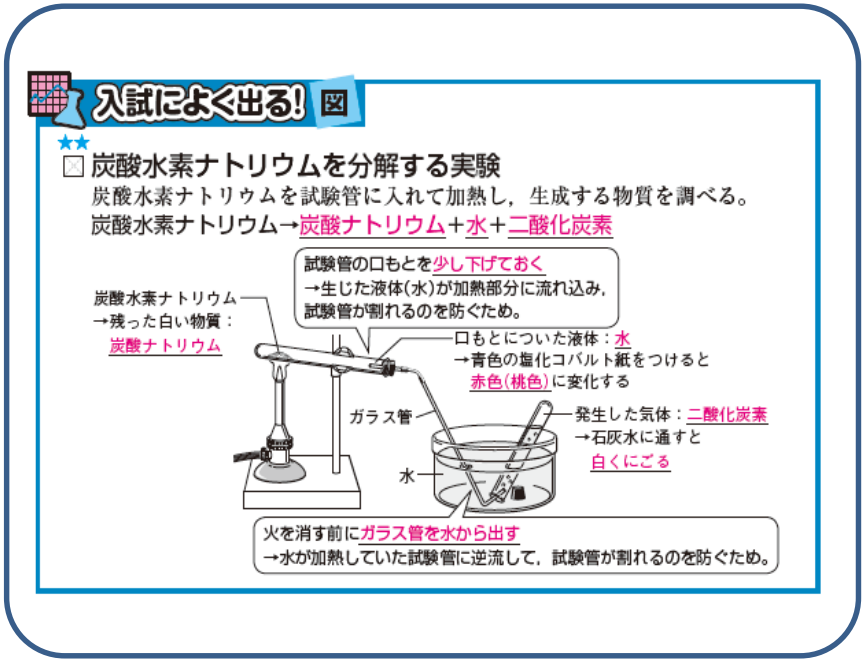
《理科》 今後の学習のポイント

■理科の学習のポイント

（1） **基礎知識**を確実に。覚えるべき知識は確実に習得する。

（2） 入試では「**実験**」や「**観察**」などが題材になることが多い。
特に実験の**目的**や**手順**はよく理解しておく。

（3） 公式などを暗記するだけでなく、問題を解いて**実際に使える**ようにしておく。



※進研ゼミ＜入試によく出る基礎　理科＞より

©Benesse Corporation.All rights reserved.

令和2年度の入試問題分析（社会）

■令和2年度　社会の大問構成（50分・50点満点）

大問	分野	内容	配点
1	地理	地図やグラフの読みとり、文章記述など	8点
2	地理	地図や統計資料の読みとりと文章記述など	9点
3	歴史	史料文の読みとりと文章記述など	9点
4	歴史	複数資料の読みとり、並べ替え問題など	8点
5	公民	しくみ図を用いた問題、文章記述など	8点
6	公民	グラフや統計資料の読みとりと文章記述など	8点

■入試問題の出題の特色（社会）

●地理・歴史・公民がまんべんなく出題されるので、ニガテな分野はしっかりと復習を。

©Benesse Corporation.All rights reserved.

《社会》 今後の学習のポイント

■社会の学習のポイント

（1） 基礎知識を確実に。特に用語は**意味を理解**し、なるべく**漢字**で書いて覚える！

（2） 「**理由**」や「**背景**」を理解してから暗記すること！

（3） （地理だけでなく）歴史や公民で学習する**地名・国名・都道府県名**は地図上の位置を把握しておく。

日米修好通商条約

①1858年，大老井伊直弼（いいなおすけ）がアメリカと結んだ通商条約。

②日本は，函館・神奈川（横浜）・新潟・兵庫（神戸）・長崎の5港を開港した。

③日本に関税自主権がなく，アメリカの領事裁判権※1を認めた不平等な内容だった。

▼日米修好通商条約の開港地

※進研ゼミ＜入試によく出る基礎　社会＞より

2020 ベネッセ
教育情報
フォーラム

Benesse

高校入試セミナー　熊本県

《第3部》
受験に向けての戦略と
学習計画

©Benesse Corporation.All rights reserved.

第3部 1

今後の対策

中学校3年間の受験戦略

時期	中１	中２		中３			
		4～12月	1～3月	4～6月	夏休み	9～11月	12～2月
戦略テーマ	基礎学力の養成 学習習慣の確立		総復習	内申点獲得	総復習	受験対策＋ 内申点対策	直前対策 総仕上げ
難関校対策＋α	いろいろな考え方を身につける 応用力養成			（余裕があれば） 復習／先取り学習		応用・発展問題 などの演習	
学習の重点ポイント	定期テスト対策 ↕ 日々の学習 毎回の定期テストを目標として、学習した単元の内容を確実に定着させる		学年末テスト対策	定期テスト対策		定期テスト対策 ↕ 時期により切替	苦手教科対策 ↕ 演習・復習の反復
	受験対策：中1・中2復習／苦手教科対策／総復習／重要単元／総合演習／過去問演習						
志望校選択	仮決め 情報収集期			会場模試・実力テストなど 絞り込み期			最終決定期

©Benesse Corporation.All rights reserved.

各学期の学習のポイント

1学期の学習（中1・中2・中3）

（1）**内申点対策に集中**する。（内申点は学年始めの1学期に獲得する）
授業中の取り組み・提出物などにも力を入れて、ペースをつかむ。
（2）1学期の学習は、2学期以降の内容につながる基礎学習が多い。
毎回の定期テストを目標にして、基礎学力と学習習慣を身につける。

2学期の学習（中1・中2）

※中3の2学期以降は，前頁を参照

（1）内申点対策に集中するのは1学期と同じ。
（2）**苦手教科に時間をかける**ように。2学期になると学習内容も難しいものが増えてくるため、苦手教科・分野が目立つようになる。

3学期の学習（中1・中2）

（1）試験科目が増え、試験範囲が広くなる学年末テストは「入試の予選」。
12月・冬休み以降は、**総復習と苦手教科の対策**に集中する。
（2）学年末テストが終わっても、3月中は総復習と苦手対策。

©Benesse Corporation.All rights reserved.

第3部 3

今後の対策

学習計画を立てる！

学習計画のポイント

（1） **１週間単位で「やること」を洗い出し**、リストをつくる。
毎日の学習を進めながら、リストをチェック。修正は土日を利用。

（2） **苦手な教科ほど時間をかける**ような計画にする。

（3） **集中力維持**のため、時間割はできるだけ不規則に。
【例】漢字15分→数学の問題集1時間→社会の暗記30分・・・など

（おまけ）テストや宿題が重なったときはどうする？

《例題》 ある月の予定

※「実力」・・実力テスト

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
↑ 今日													定期テスト			部活	実力	提出物

©Benesse Corporation.All rights reserved.

志望校合格に向けて

《中1・中2から取り組んでおきたいこと》

（1）常に**最新の情報**をチェックする習慣をつける。（何が変わるのか、を明確にしておく）

（2）高校入試では、内申点・学力検査点のどちらも重要な選抜資料だが、
中1・中2は**定期テストを目標**に日々の学習を進め、**基礎学力**と**学習習慣**をしっかり身につける時期。

（3）高校入試は中学校3年間の学習の積み上げ。**2学期は苦手教科**の学習に、
3学期は学年末テストを活用して**総復習**に時間をかける。

（4）週単位での**学習計画**をつくる。やるべきこと→できたことのチェックを
毎週繰り返すことで、受験学年での学習のペースをつくる。

MEMO